

令和4年度

法人事業報告

(自)令和4年4月1日(至)令和5年3月31日

社会福祉法人 ふじの園

1. 社会福祉法人ふじの園基本理念

『キリストの愛と光によって導かれた子どもたちの尊厳と幸福を目指します』

私たちは、キリストの愛に倣い、子どもたち一人ひとりをかけがえのない存在として受け止めます。そして、子どもたちが自分らしく幸せに生きていくことができるように、いつでもどんな時でも子どもたちを支えていきたいと願っています。

2. 事業概況

令和3年度も新型コロナウイルス感染症には細心の注意を払いながらの事業経営でした。それでも一関藤の園、一関藤保育園の両施設にクラスターが発生してしまい、厳しい運営をしなければならない時期がありました。そのような中、各施設においても対策を講じ、細心の注意を払いながら可能な行事を実施し、運動会などでは子どもたちの生き生きとした姿を見ることができました。ただ、コロナ発生のために運営計画の修正や対応、一関藤の園においては児童の問題行動への対応、一関藤保育園においては他県で起きた園児虐待ニュースから端を発した諸調査への対応など、職員が苦勞するようなことがありましたが、全職員で乗り切ることができたのは成果であったと考えます。

一関藤の園においては6月に職員の不祥事案が発生し、県南広域振興局指導監査課による指導監査が入りました。法令遵守の取組みに力を入れている中で起きたことでもあり、大変残念なことでしたが、組織運営及び職員の資質の向上等、是正改善内容を明確にして力を注ぐこととしました。一関藤保育園においては、英語に親しむ時間の創設を具体化するなど、魅力あるこども園保育園経営を心掛けてきました。

経営面では、一関藤の園においては、入所児童の減少による定数減と職員の現状維持、一関藤保育園においては今後の少子化に伴う入園児定数確保の経営戦略を常に念頭において進めてきました。法人本部は、それぞれの施設の現状の正確な把握と、成果と課題を明らかにしてさらなる指導的な役割を果たしていかなければなりません。

3. 理事会の開催状況

法人の業務が円滑に推進されるように必要に応じて理事会を次のとおり開催しました。

期 日 開催数	出席者数	主 な 内 容
6月3日 定 時 (第1回)	理事6名 監事2名	主に、令和3年度の各施設の苦情解決事業の結果報告と、令和3年度各事業報告及び各決算報告の承認についての審議を中心に開催され、提案のとおり承認されました。 1. 報告事項 (1) 理事長の職務執行状況の報告について (2) 令和3年度の各施設の苦情解決事業の結果について (3) 令和3年度資金収支予算に係る予備費の使用の専決処分について (4) 児童養護施設一関藤の園に係る植栽工事請負契約の専決処分について (5) 令和3年度児童養護施設一関藤の園に係る進学支援寄附金給付事業について

期 日 開催数	出席者数	主 な 内 容
		(6) 令和4年4月5日開催の評議員選任・解任委員会の結果について (7) 令和4年度の法令遵守の取組みについて (8) 令和4年度の法人本部及び各施設の職員体制について 2. 決議事項 (1) 令和3年度各事業報告及び各決算報告(計算関係書類)の承認について 監事監査報告 (2) 令和3年度資金収支補正予算案の承認について (3) 児童養護施設一関藤の園に係る入所定員の変更案の承認について (4) 社会福祉法人ふじの園育児・介護休業等に関する規則の一部改正案の承認について (5) 児童養護施設一関藤の園進学支援寄附金給付規程の一部改正案の承認について (6) 令和4年度定時評議員会の招集事項について
12月2日 定 時 (第2回)	理事6名 監事1名 監事1名欠席	主に、令和4年度社会福祉法人ふじの園法令遵守の取組みの報告と、社会福祉法人ふじの園育児・介護休業に関する規則(書式)の一部改正案の承認についての審議を中心に開催され、提案のとおり承認されました。 1. 報告事項 (1) 理事長の職務執行状況の報告について (2) 令和4年度社会福祉法人ふじの園法令遵守の取組みについて 2. 決議事項 (1) 社会福祉法人ふじの園育児・介護休業等に関する規則(書式)の一部改正案の承認について (2) 児童養護施設一関藤の園及び認定こども園一関藤保育園職員就業規則の一部改正案の承認について (3) 児童養護施設一関藤の園及び認定こども園一関藤保育園嘱託職員等給与規程の一部改正案の承認について (4) 令和4年度資金収支補正予算案の承認について
3月23日 定 時 (第3回)	理事6名 監事2名	主に、児童養護施設一関藤の園に係る県南広域振興局指導監査課による指導監査結果と是正改善結果の報告、社会福祉法人ふじの園文書保存規程の一部改正案の承認についての審議を中心に開催され、提案のとおり承認されました。 1. 報告事項 (1) 理事長の職務執行状況の報告 (2) 児童養護施設一関藤の園に係る県南広域振興局指導監査課による指導監査結果と是正改善結果について (3) 令和4年度法人及び施設の法令遵守の取組みについて (4) 児童養護施設一関藤の園に係る福祉サービス第三者評価の受審結果について

期 日 開催数	出席者数	主 な 内 容
		2. 決議事項 (1) 社会福祉法人ふじの園文書保存規程の一部改正案の承認について (2) 社会福祉法人ふじの園個人情報管理規程の一部改正案の承認について (3) 児童養護施設一関藤の園及び認定こども園一関藤保育園職員給与規程及び嘱託職員等給与規程の一部改正案の承認について (4) 児童養護施設一関藤の園管理規程の一部改正案の承認について (5) 令和4年度法人及び各施設の資金収支補正予算案の承認について (6) 令和5年度法人及び各施設の事業計画案の承認について (7) 令和5年度各施設会計から法人本部会計への繰入案の承認について (8) 令和5年度法人及び各施設の資金収支当初予算案の承認について

4. 評議員会の開催状況

法人の議決機関として評議員会を次のとおり開催しました。

期 日 開催数	出席者数	主 な 内 容
6月21日 定 時	評議員 6名 欠席1名	主に令和3年度法人本部及び各施設の事業報告、令和4年度の事業計画の報告、令和3年度決算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認についての審議を中心に開催され、提案の通り承認されました。 1. 報告事項 (1) 令和3年度法人本部及び各施設の事業報告について (2) 令和4年度法人本部及び各施設の事業計画について 2. 決議事項 (1) 令和3年度決算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について 監事監査報告 (2) 社会福祉法人ふじの園役員等に関する報酬規程の一部改正案の承認について

5. 評議員選任・解任委員会の開催状況

期 日	出席者数	主 な 内 容
4月5日	委 員 5名	小山祐二評議員の辞任の申し出に伴う後任評議員の選任について審議し、提案通り小野寺浩之氏を小山祐二氏の後任の評議員に選任した。

6. 法令遵守推進会議の開催状況

期 日 開催数	出席者数	主 な 内 容
5月13日 第1回	会員9名	法令遵守推進を目的として開催され、計画等について審議した。 1. 審議事項 (1) 令和4年度社会福祉法人ふじの園法令遵守推進計画について
2月9日 第2回	会員8名 欠席1名	法令遵守推進の総括をすることを目的として開催され、1年間の活動の成果と課題等について審議した。 (1) 令和4年度社会福祉法人ふじの園法令遵守推進の成果と課題 (2) 令和5年度法令遵守推進計画について

7. 監事による監査

期 日	出席者数	主 な 内 容
令和4年5月31日	監事2名	令和3年度事業・決算監査及び令和4年1～3月分の出納調査
令和4年9月8日	監事2名	令和4年4～6月分の出納調査
令和4年11月10日	監事2名	令和4年7～9月分の出納調査
令和5年2月7日	監事2名	平成4年10～12月分の出納調査

8. 会計事務所による監査

監査実施者	主 な 内 容
税理士法人奥州会計 熊谷徹哉事務所	毎月1回、拠点区分ごとに元帳及び月次試算表の精査 伝票と証憑書類の突合

9. 県南広域振興局及び一関市による指導監査

実施日	監査機関	対象施設	結 果 内 容
令和4年11月2日	県南広域振興局 保健福祉環境部 指導監査課	一関藤の園	文書指摘 1件 口頭指摘事項2件

10. 登記関係

登記日	主 な 内 容
令和4年6月27日	資産総額の変更登記 令和4年3月31日変更 資産総額 18億4,651万9,782円を18億2,564万4,294円に変更

11. 苦情解決体制

事業所名	苦情受付担当者	苦情解決責任者	第三者委員	受付件数
法人本部	渡部 俊幸 (法人事務局長)	橋本 欽哉 (法人理事長)	鈴木美樹子 (大学教授)	なし
一関藤の園	千葉 美樹子 (副園長) 千葉 麻子 (保育士)	渡部 俊幸 (園 長)	小山 峯雄 (地域代表) 長尾 美恵子 (民生委員)	なし
一関藤保育園	佐々木 利恵 (副園長)	斎藤 志華子 (園 長)	久保田文吾 (歯科医師) 米田 剛史 (公務員)	なし

12. 令和4年度苦情解決処理状況の概要

事業所名	申 出 人	人 員	苦情の内容 (件数)				処 理 数		
			虐待・放 置・脅迫・ 詐欺等	ケアの内容 に関わる 事 項	個人の嗜好・ 選択に関わる 事項	その他	施設・事業 所内で解決 したもの	第三者委員 (会) の助言 等を得たもの	施設・事業所 内で解決にい たらなかった もの
法人本部	0	0							
一関藤の園	0	0							
一関藤保育園	0	0							
計	0	0							

13. 情報公開

	役員 名 簿	財 産 目 録	事 業 計 画 書	事 業 報 告 書	第 三 者 評 価 結 果	苦 情 処 理 結 果	貸 借 対 照 表	資 金 収 支 報 告 書	事業活動 計 算 書
関 覧	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ホームページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広 報 誌 (一関藤の園)			○	○				○	○

14. 法令遵守研修開催状況

月	主 な 内 容
6～7月	理事長による法令遵守講話 (一関藤の園、一関藤保育園各事業所で1回)
6～9月	園長による講話及び研修 (一関藤の園、一関藤保育園各事業所で2回)
10月～11月	外部講師による動画研修 一関藤の園1回 園長による講話 一関藤保育園1回
R4 1月～3月	園内研修 一関藤の園1回

令和 4 年度

児童養護施設一関藤の園報告 事業報告

(自)令和 4 年 4 月 1 日(至)令和 5 年 3 月 31 日

社会福祉法人 ふじの園

1. 一関藤の園基本理念・基本方針・養護目標

(1) 社会福祉法人ふじの園基本理念

『キリストの愛と光によって導かれた子どもたちの尊厳と幸福を目指します』

私たちの法人・施設は、キリスト教のカトリックの精神を拠りどころに運営されています。私たちは、キリストの愛に倣い、子どもたち一人ひとりをかけがえのない存在として受け止めます。

(2) 児童養護施設一関藤の園基本理念・養護方針・養護目標

・基本理念『祈りと感謝の心』

私たちは、キリストの愛の精神に基づき、子どもの生命と人権を守り、自己実現と自立のために継続的な養育を通して子どもの最善の利益の実現をめざします。

・養護方針

私たちは、日本国憲法、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法の精神を尊重しキリスト教の理念である愛と平和と平等をもとに子どもの育ちを保障し次に掲げる養護方針を実践します。

- ① 私たちは、家庭的養護と子ども一人ひとりのニーズに応じた養育をおこないます
- ② 私たちは、子どもの発達を保障し自立支援の充実につとめます
- ③ 私たちは、子どもの心身の回復をめざした支援をおこないます
- ④ 私たちは、家族との信頼関係を築き連携・協働した支援をおこないます
- ⑤ 私たちは、継続的な支援と連携アプローチによる支援をおこないます
- ⑥ 私たちは、ライフサイクルを見通した支援をおこないます

・養護目標（めざす子ども像）

『自己実現のために個性や可能性を最大限に発揮して未来を切り開く子ども』

- (1) 『ありがとう』と言える子どもの育成

(素直に感謝の気持ちを表現できる子ども)

- (2) 『ごめんなさい』と言える子どもの育成

(素直に自分のおこないを振り返ることができる子ども)

- (3) 『お願いします』と言える子どもの育成

(良好な人間関係を築くことができる子ども)

2. 施設運営関係

計画の基本理念 「子どもと職員と地域の人たちの幸せを応援する仕組みづくり」

【2022年度施設運営の総括】

2022年度は、定員が51名から暫定定員（本体施設41名、地域小規模児童養護施設6名）となり、入所児童の現員は34名（一時保護児1名含む）のスタートとなりました。職員は、39名でのスタートとなりましたが、期中に児童指導員2名（正職員1名、パート職員1名）、栄養士1名（正職員）、宿直専門員1名（パート職員）を採用し事業を進めることができました。

2022年度は、前年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、施設運営にも大きな影響がありました。入所児童の感染時の看護体制や職員が出勤困難となることが多々あり養育体制の維持に腐心しました。

施設運営全般については、創立60周年であったことから記念植樹と記念誌を発行しました。新聞等でも取り上げて頂き、地域の方々にも当施設の考えや取り組みを紹介することができました。また、岩手県社会福祉協議会による福祉サービス第三者評価を受審し、共通評価の充足率70.4%（前回：2019年度80.7%）、内容評価は、95.7%（前回：2019年度89.3%）という結果となりました。客観的な評価により課題等もみえてきたことから次年度以降の事業計画等に反映させ改善を図っていきたいと考えています。

養育関係では、新型コロナウイルス感染症対策に細心の注意を払いながら日常の生活を維持させることや行事等についても工夫しながら進めることができました。

人事・労務・研修関係では、職員の採用及び定着が近年の大きな課題であることから休日を週1日から4週6休に増やすとともに勤怠管理システムの導入、職員給与の見直しを行い、職場環境の改善に努めました。また、健康診断の項目の拡充、職員アンケート、公認心理師による面談を通して職員が悩みを抱え込まないように職員のメンタルヘルスにも考慮した取り組みの充実に努めました。

研修関係では、人材育成研修計画の見直しを行い、各職員の個別研修シート及び業務管理シートを作成するなどキャリアアップの仕組み作りに努めました。外部研修については、新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、参集型やオンラインでの受講など柔軟に対応することができました。また、岩手県児童養護施設職員研修の当番施設であったことから、11月に全面オンラインでの研修を企画し実施することができました。

令和4年度は、入所児童が月平均36名となり入所率は76%でした。近年は入所児童が減少傾向にあり、新型コロナウイルス感染症対策の費用や物価高の影響もあり経営的には厳しさが増えています。今後も厳しい経営が続くことが予想されることから利用者のニーズ、地域住民のニーズ、行政のニーズに応えられるよう施設運営基盤の強化と更に養育の質を高めていきたいと考えています。

2-1) 2022年度の主な出来事

日 時	主 な 出 来 事
4 月 1 日	本園入所児童 29 名（一時保護児含む）、地域小規模児童養護施設 5 名、計 34 名、職員 39 名でスタート。定員は本体施設 45 名から暫定定員 41 名となり、地域小規模児童養護施設 6 名と合わせて 47 名となる。処遇システムのソフトを更新する。
4 月 12 日	公文式英語の通塾を開始する。（児童 6 名）
5 月 4 日	一輪車クラブの発表会に招待される。（文化センター）
5 月 15 日	開園記念日 創立 60 周年を迎える。記念事業としてグラウンド周辺への記念植樹をする。岩手日日新聞に開園 60 周年の特集記事が掲載される。マリア祭
5 月 17 日	ご復活 教会ミサに預かる。
6 月 3 日	第 1 回定時理事会（決算・事業報告等）
6 月 8 日	第三者評価研修会（岩手県社会福祉協議会）
6 月 15 日	一関児相との協議会
6 月 21 日	定時評議員会（決算書類の承認等）
7 月 20 日	センターとの協議会
7 月 22 日	消防機器点検
7 月 31 日	転地養護（小田浜海水浴場）
8 月 7 日	男子児童キャンプ（～8 日：巖美オートキャンプ場）
8 月 20 日	ピアノとフルートの演奏会（体育館） マリア祭
9 月 14 日	食育に関する職員研修（ホールフードについて）
1 0 月	記念事業として記念誌を 500 部刊行する。
10 月 8 日	藤の園運動会を規模を縮小して実施する。
11 月 2 日	県南広域振興局指導監査課による指導監査
11 月 16 日	福祉サービス第三者評価訪問調査
11 月 21 日	ZOOM による岩手県児童養護施設協議会職員研修を当施設が担当で開催する。
12 月 5 日	サンタニコラオ
12 月 25 日	クリスマス会（クリスマスイラストコンクール）
12 月 28 日	年末の大掃除
12 月 31 日	大晦日 年越しの集い
1 月 10 日	法人主催の体験型子ども食堂協賛（一関市民センター）
2 月 15 日	嘱託医による健康講話
3 月 15 日	福祉サービス第三者評価報告会
3 月 18 日	卒園生を送る会 新体制の発表
3 月 23 日	法人理事会（事業計画・当初予算等）
3 月 26 日	児童 34 名 職員 43 名で新体制がスタート 令和 5 年 4 月 1 日から本体施設定員 40 名・地域小規模児童養護施設定員 6 名となる。
3 月 30 日	法人主催の体験型子ども食堂協賛（一関市民センター）

2-2) 2022年度の施設運営重点施策

No.	重点施策項目	具体的な成果や問題点・課題
1	権利擁護と法令遵守の推進	法人本部と連携し定期的な法令遵守推進会議への参加、毎月の権利擁護のチェックシートによる自己評価、園内研修など権利擁護の啓発、理解に努めました。
2	安心感・安全感を高める対策の推進	新型コロナウイルス感染症の防止対策に努めるとともに濃厚接触者や感染者が出現した場合のマニュアルを作成し実施しました。感染者については、隔離等の措置を取りながら感染拡大の防止に努めました。
3	福祉サービス第三者評価の受審	岩手県社会福祉協議会による福祉サービス第三者評価を受審しました。共通評価の充足率 70.4% (前回 80.7%)、内容評価は、95.7% (前回 89.3%) という結果でした。
4	社会的養育推進計画の推進	入所定員を本体施設 45 名から 40 名に変更しました。小規模化、地域分散化、多機能化に向けて法人と連携しながら新規事業の検討を行いました。
5	事業計画に沿った事業の推進	PDCAの管理サイクルや 5W2H の明確化など、組織的な取り組みを強化するとともに各委員会の活動と連携して進めることができました。
6	創立 60 周年事業	グラウンド周辺に 100 本程度の記念植樹を行い、児童一人ひとりの樹が分かるように名前を刻んだプレートを設置しました。また、記念誌を 10 月に 500 部刊行しました。

2-3) 会議・委員会の開催状況

会議名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
職員会議	4/13 4/20	5/11	6/4	7/6	8/24	9/7	10/5	11/9	12/7	1/18	2/1	3/1	13
ケース検討会議			6/29	7/13	8/31						2/15		4
自立支援会議		5/18	6/1 6/15				10/19 10/26						5
企画委員会	4/13		6/1	7/6 7/13	8/24	9/7	10/5	11/9	12/7	1/18	2/1	3/1	12
リスマネ委員会			6/29	7/13		9/21	10/12	11/30	12/14	1/25			7
給食委員会		5/18		7/20				11/30					3
安全委員会			6/29								2/22		2
感染症対策委員会						9/21			12/21			3/15	3
性教育委員会				7/20		9/28					2/22	3/15	4
苦情等解決委員会													0
広報委員会	4/27				8/31		10/2		12/14		2/15		5
メディア委員会	6/27		6/16	7/20		9/14	10/18 10/19	11/2	12/21	1/16			9
進学支援委員会			6/29										1
60 周年実行委員会	4/13	5/18	6/22										3

※ 他に主任会議・ホーム会議・個別ケース会議・環境美化委員会を適宜開催しました。

2-(4) 関係機関との連絡会議等の状況

日 時	機 関 名	参加職員	会 議 の 内 容
随 時	もりおかユースポート	関係職員	卒園児の情報交換
〃	里親支援事業	1	令和4年度里親制度普及啓発事業他
〃	磐井中学校との連絡会	関係職員	新入学児及び在籍児の情報交換
〃	山目小学校との連絡会	関係職員	在籍児の情報交換
〃	一関清明支援学校	関係職員	在籍児の情報交換
〃	一関児童相談所	関係職員	在園児童の情報交換など
〃	岩手県福祉総合相談センター	関係職員	〃
〃	宮古児童相談所	関係職員	〃
年 3 回	山目小学校評議員会	1	学校運営に関する定期的な意見・情報交換
年 4 回	一関市要対協実務者会議	1	要保護児童の状況等について
年 4 回	一関地区障害者地域自立支援協議会	1	こども部会としての活動
年 3 回	岩養協幹事会	2	
年 2 回	児童協幹事会	1	
年 2 回	児童協専門委員会	1	
年 3 回	日本カトリック児童施設中央委員会	1	

2-(5) 一時保護委託・子育て支援事業の利用状況

事 業 名	利用家族数	利用人数	利用延べ日数	事 業 内 容
一時保護委託	3 家庭 (5 家庭)	5 名 (5 名)	183 日 (288 日)	児相からの一時保護委託
ショートステイ事業	4 家庭 (4 家庭)	6 名 (5 名)	46 日 (35 日)	短期間の宿泊を含む養育支援
トワイライト事業	0 家庭 (0 家庭)	0 名 (0 名)	0 日 (0 日)	一定時間の預かり

() 内は前年度実績

2-(6) 要望等解決事業の状況

要望・苦情内容	申 立 人					第三者への申立て
	小学生	中学生	高校生	その他	計	
他児への苦情・要望					0	
設備等への苦情・要望					0	
職員への苦情・要望					0	
養育・食事に対する苦情・要望					0	
家族からの苦情・要望					0	
計					0	

2-(7) 要望ノートの状況

件 数	2022 年度	2021 年度	2020 年度	2019 年度	備 考
要望受付件数	885	894	770	675	コロナ禍による行動自粛により物品の購入やどこかへ行きたい等の要望が多くありました。
解決済件数	781	814	666	608	
検討中	30	13	30	38	
解決が困難	16	42	34	-	
つぶやき	58	22	40	29	

※ 要望ノートは、日常生活の会話の中で児童が呟いた言葉や要望を職員が書き留めたもの

2-(8) 情報公開の状況

情報公開ツール	内 容	部 数
広報誌 いちのせき藤の園 2022年 6月号	理事長あいさつ、ホーム紹介、新入学・入園、新任職員紹介、コロナ関連など	500
広報誌 いちのせき藤の園 2022年 10月号	園長所感、行事、令和3年度事業報告・決算報告、令和4年度事業計画など	500
広報誌 いちのせき藤の園 2023年 1月号	園長所感、行事紹介、60周年特集など	500
ホームページ (www.fujinosono.or.jp)	施設概要、令和3年度事業及び決算報告 令和4年度事業計画 など	

2-(9) 実習生の受入状況

学 校 名	人数	実 習 期 間	実 習 内 容
仙台青葉学院短期大学	1人	6月3日～6月12日	《研修内容》 ・ 理事長講話 ・ 園長講話 ・ 児童援助技術の習得 ・ 施設見学 ・ 基本理念について ・ 児童福祉の動向について ・ 心理療法について ・ ケースカンファレンス ・ グループホーム見学 ・ 食育について ・ 家庭支援・里親について ・ 個別対応について ・ 安全委員会について ・ 看護師業務について など
尚綱学院大学	3人	6月6日～6月15日	
東北福祉大学	2人	6月20日～6月29日	
修紅短期大学仙	4人	7月4日～7月13日	
	4人	7月15日～7月24日	
	4人	7月28日～8月6日	
	4人	8月18日～8月27日	
	1人	10月7日～10月16日	
聖和学園短期大学	1人	8月29日～9月7日	
宮城誠真短期大学	2人	9月12日～9月21日	
仙台子ども専門学校	2人	9月26日～10月5日	
		9月28日～10月7日	
盛岡大学短期大学	2人	11月7日～11月16日	
		11月7日～11月18日	
専修大学北上福祉教育専門学校	2人	12月5日～12月14日	
	2人	1月16日～1月25日	
盛岡大学	1人	2月6日～2月16日	
令和4年度合計	受入校 10校	35人	
令和3年度合計	受入校 12校	59人	

2-10) ボランティアの受入状況

日 時	団体(個人)名	人数	活 動 内 容
年 間	高橋 竜	1	散髪
年 間	菅原 英雄	1	畑の管理
年 間	槻山 勝宏	1	花の提供
年 間	セブンイレブン中里店		年間を通しての食べ物の支援
年 間	伊藤 勝利		段ボールの回収
年 間	パーラーJ遊・ウインズ一関		お菓子の寄贈
年 間	J Aいわて平泉		野菜・果物等の寄贈
年 間	あべ政サイクル	1	自転車の修理
年 間	島田 恵子	1	食品の寄贈
年 間	外山 琳	1	中学生への個別学習
5.04	一関一輪車クラブ		発表会への招待
8.20	東横 INN 一ノ関駅前		ピアノとヴァイオリンの演奏会
9.30	フィリップ モリス ジャパン	4	環境整備

(敬称は略)

2-11)-① 安全・安心を守る取り組み

項 目	内 容
新型コロナウイルス感染症対策	新型コロナ感染症の対策として、空気清浄器を各居室と応接室、事務所に設置するとともにマスク等の備品を購入しました。
避難訓練	毎月、地震や火災を想定した消火訓練、避難訓練を実施しました。
職員非常連絡通報訓練	非常事態を想定して職員の連絡体制の確認をしました。
施設内外の危険箇所の点検	毎月1回、リスクマネジメント委員会による施設内外の危険箇所を点検し安全対策を講じました。
自転車の点検	4月に自転車の点検を行い、不具合があれば修理しました。
遊具の安全点検	毎月、リスクマネジメント委員会による遊具の安全確認を実施するとともに年1回、専門業者による遊具の安全点検を行いました。
非常食の備蓄	災害時に備え、非常食の備蓄を行いました。(120人分×3日分)
災害時の備品等の購入	災害時等に備え乾電池、救急セット等を購入しました。 感染症対策としてパーテーション、対策用品を購入しました。
マニュアル等の見直し	防災関係のマニュアルをはじめ災害時の安否確認方法や連絡網の整備を行いました。

2-Ⅱ-② 避難訓練の実施状況

月 日	想 定	参加者	目 的
2022.04.24	調理室からの出火（火災）	名	新型コロナウイルス感染症罹患患者発生のため中止。
2022.05.28	震度 5 弱の地震（余震あり）	名	新型コロナウイルス感染症罹患患者発生のため中止。
2022.06.18	機械室からの出火	41 名	放送の指示に注意し、その後の行動がとれる。
2022.07.22	地震により調理室からの出火	40 名	自衛消防組織を中心として、それぞれの役割及び正確な避難行動の方法を確認する。
2022.08.26	西側ユニットからの出火（ミカエルホーム）	46 名	避難経路を確認しながら速やかに幼児部の介助を行うことができる。
2022.09.24	震アフターホームからの火災（アントニーホーム）	46 名	外部建物火災のため出火状況を確認し適切な避難行動と初期消火活動ができる。
2022.10.29	心理棟（マリア院）からの出火	37 名	避難経路を確認しながら、速やかに避難行動ができる。
2022.12.18	西側ユニット（ガブリエル）で調理中に火災	31 名	正確に出火場所を確認し適切な幼児の介助し児童の安全には最大限に注意する。
2023.02.18	震度 5 弱の地震	49 名	避難経路を確認しながら速やかに幼児部の介助を行うことができる。
2023.02.23	震度 5 強の地震	51 名	避難経路を確認しながら速やかに幼児部の介助を行うことができる。

2-Ⅱ-③ ヒヤリ・ハットの状況（事故・怪我含む 延べ人数）

分類	対象児	幼 児	小学生 1～3 年	小学生 4～6 年	中学生	高校生	その他	合 計
うっかりミス		0	0	0	0	0	0	0
思い込み		1	0	0	0	0	0	1
知識不足		5	4	4	0	1	0	14
認識不足		3	0	2	1	1	0	7
援助技術の未熟		0	0	0	3	0	0	3
見守り不十分		19	0	2	0	0	0	21
情報交換不足		0	0	0	1	0	0	1
配慮不足		2	0	6	4	0	0	12
設備の不備		1	0	0	0	0	0	1
利用者本人		23	5	9	6	5	0	48
合 計		54	9	23	15	7	0	108

2-Ⅱ-④ ヒヤリ・ハット（学年・男女別）

分類	対象児	幼 児	小学生 1～3 年	小学生 4～6 年	中学生	高校生	合 計
男 児		26	9	8	13	4	60
女 児		28	0	15	2	3	48
合 計		54	9	23	15	7	108

3. 養育関係

【2022年度養育関係の総括】

2022年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染症対策に注力した1年でした。家族との面会や帰省の制限など、ご家族との交流も感染状況を見ながらの実施となり、子どもたちやご家族の皆様にも大変ご不便をお掛けしました。また、学校では学年閉鎖や学級閉鎖などのために登校できないこともありました。施設としては、子どもたちが安全で安心して生活できるようにできる限りの対策を講じましたが感染を防ぐことは出来ませんでした。感染した子どもたちについては、保健所や医療機関を連携しながら対応することができたと思います。制限の多い1年間でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になっていた施設の恒例行事である運動会やクリスマス会を規模を縮小して実施することができたり、ユニット単位やフロア単位での行事を企画し実施するなど、子どもたちの要望等を取り入れながら実施することができました。

2022年度は、家庭復帰や措置変更、進学等について、関係機関や学校等と緊密に情報交換を図りながら本人の意向を尊重し個別的なケアを深めることができました。また、学習・就職・進学支援については、小学生は個別学習や英語の通塾、中学3年生は個別指導や通塾を利用し3名全員が高校に進学することができました。また、高校3年生は1名が施設に在籍しながらの進学、1名が希望する事業所に就職することができました。社会自立や家庭復帰した子どもたちについても定期的に家庭訪問等を実施することができました。

ユニットによる養育が中心となり、専門職や他のユニット職員との連携などユニットになってからの課題も見えてきています。子どもたちのニーズも多様化している中、職員が一人で多数の子どもたちを養育することが常態となっています。職員個々の養育の質を高めていくことが必要であり施設全体で取り組んでいかなければならないと考えています。

法人・施設の理念である「子どもたちの尊厳と子どもたちの幸福」を第一に更により良い養育を探究していきます。

3-1 ユニットの編成（2023年3月1日現在）

区 分	ホーム名	対象児	居室児童数		
			男	女	計
本 園（小グループケア）	ミカエルホーム	学 童	6	0	6
〃	フランシスコホーム	〃	5	0	5
〃	ガブリエルホーム	〃	0	6	6
〃	ルカホーム	幼 児	2	2	4
〃	ラファエルホーム	学 童	0	4	4
〃	テレサホーム	〃	0	5	5
地域小規模児童養護施設	マリアホーム	〃	5	0	5
合 計			18	17	35

3-② 2022年度の養育関係重点施策

	重点施策項目	具体的な成果や問題点・課題
1	養育の質の向上	生活の主体が子どもであるように子どもの意見や思いを汲み取ることに努めました。特にコロナ禍にあつて、大きな行事は出来ませんでした。日帰りでの海水浴や1泊での男子キャンプ、イラストコンクールなどの行事を企画し実施することができました。職員の連携も大切であることからホーム会議、フロア会議、主任会議等を定期的に開催し情報の共有に努めました。
2	アセスメントと自立支援計画の有効活用	5月、6月に自立支援会議を開催し、10月に年度初めに立てた計画の見直し会議を開催しています。計画では、日頃の様子をアセスメントし効果的な支援ができるよう自立支援計画票の作成をしています。ホーム会議を活用し、専門職とも連携しながらより個々にあった支援ができるよう連携を図っています。
3	学習・進学支援・就職支援の充実	学習指導員が中心になり学習支援を実施しました。中学生への支援として学習指導員1名との個別学習、受験生は通塾するなどニーズに合わせ地域資源も活用しています。中学3年生は全員が希望する高校進学、高校3年生は1名が進学、1名が就職しました。自動車免許の取得費用の助成として自立支援寄附金給付規程により助成金の支給できるようになりました。
4	専門職との連携とスーパービジョン	医療的なケアを必要とする児童に対して心理療法担当職員、看護師がユニット職員と連携し対応しています。コロナ感染症対策では看護師が主導して対策を講じています。また、養育相談及び職員のメンタル相談を目的に学校カウンセラーの菅原氏を委託しています。心理療法担当職員は、スーパーバイザーとして大学教授を委託し定期的な指導等を受けています。
5	里親や家族への支援	家庭支援専門相談員が児童と家族の調整を図り、家族への情報提供や家族の意向や要望に対応しています。退所や入所の場合も関係機関と連携しスムーズに入退所ができるように調整を行っています。 定期的な家庭訪問や電話等でのやり取りを通して関係維持に努めています。
6	アフターケアの充実	新型コロナウイルス感染症の影響もあり来園や訪問を制限せざるを得ない状況でしたが、家庭支援専門相談員等が中心となり随時電話等での相談支援に対応するなどアフターケアに取り組ましました。 様々な課題を抱えている卒園生も散見されることから職員個人が抱え込まないように施設として組織的な取り組みが必要であり、近年、アフターケアの重要性が指摘されていることもあり、自立支援専門相談員の配置も検討課題となっています。

3-(3) 自治会の開催状況

実施日	参加児童	参加職員	会 議 内 容
2022. 07. 02	17	3	・インターネット使用について ・転地養護の弁当発注とおやつ購入について ・ネットショッピングについて
2022. 09. 10	18	4	・水道光熱費について ・藤の園運動会児童役割分担について ・園遊会代替え行事について
2022. 09. 25	19	9	・Wi-Fi 使用について
2022. 10. 09	10	4	・Wi-Fi 使用について ・インターネットショッピングについて
2022. 11. 05	21	5	・子ども用PCのルールについて ・Wi-Fi 高校生試験運用について ・ネットショッピングについて ・情報メディア教育について ・子どものクリスマス会について ・交通安全について
2023. 02. 04	20	4	・携帯電話使用ルール（ゲームも含む）について ・Wi-Fi 使用について ・ゲームの貸し借りは基本無し ・異性との距離感について ・ホーム、個室の出入りについて ・自分を守る危機管理能力 ・令和5年度の自治会役員選出について

3-(4) 自立生活訓練の状況

実施期間	対象児	内 容	場 所	期 間
2022. 07. 31～08. 07	高校3年女児	一定の生活費による生活訓練	親子訓練棟	8日間
2023. 02. 06～02. 18	高校3年女児	〃	親子訓練棟	13日間
2023. 03. 01～03. 10	高校3年女児	〃	親子訓練棟	10日間

3-(5) 機能強化推進対象事業の状況

実施日	事業名	名 称	内 容
年 間	心身機能低下防止事業	食育（野菜の栽培） 花育・環境美化	食育の一環として近隣の畑を借り野菜を栽培する。また花を植え、環境美化を図るとともに子どもの情操を養いました。
5月～3月	〃	ユニット・学年別行事	コロナ感染予防対策を取り、ユニット別・学年別の行事を実施しました。
10月8日	〃	園内行事（運動会）	競技を通じて施設内児童・職員の交流を図りました。
年 間	〃	ユニット行事（自主献立）	自主献立を立てて食事を作る。またテイクアウトを含めて外食を利用する。
年 間	総合防災対策強化事業	非常食の備蓄 コロナ感染症対策	非常時に備え、非常食等を用意する。また、緊急時連絡用ツールを配備する。

3-(6) 家庭支援(アフターケア)の状況

項 目	内 容
家庭訪問	家庭復帰後のアフターケアとして家庭訪問を実施
学校・幼稚園訪問	家庭復帰後の学校での状況についての状況確認
相談支援	電話等にて状況確認、相談支援（全卒園生対象）

3-(7) 健康保健・性教育に関する活動状況

実施日	活 動 内 容	参加人数
2023. 2. 10	外部講師（黒澤真澄助産師） 「生命の誕生」（小学生）	児童 10 名 職員 5 名
2023. 3. 20	外部講師（黒澤真澄助産師） 「生と性を考える」思春期の心と身体の変化（中学生男子）	児童 10 名 職員 3 名
2023. 3. 20	外部講師（黒澤真澄助産師） 「生と性を考える」思春期の心と身体の変化（中学生女子）	児童 6 名 職員 3 名

3-(8) 世代間交流

実施日	活 動 内 容	参加人数
2022. 11	特別養護老人ホームプレゼント交流 新型コロナウイルス感染予防のため訪問せずプレゼントを贈る	

3-(9) 民区・地域との交流の状況

新型コロナウイルス感染症の影響により民区行事は夏休みのラジオ体操のみに参加

3-(10) 親子訓練室等（ヨゼフ寮・アントニーホーム）の利用状況

施設名	利 用 者	備 考
ヨゼフ寮	・入所児及び入所児の家族 ・卒園生	親子で食事をしたり宿泊等により親子交流を深めることや卒園生とその家族が帰省した時の宿泊場所として利用しています。また食育実習や感染者の隔離のための場所として利用しています。
アントニーホーム	・入所児 ・卒園生	アフターケアホームとして卒園生やその家族の宿泊場所として利用しています。
マリア院	・入所児 ・実習生	心理療法や実習生の宿泊に利用しています

3-(11) 学習支援の状況

対象児童	支 援 内 容
小学生	元教員による個別学習を水曜日から金曜日までの3日間実施 学習塾の利用
中学生	元教員による個別学習（週2回） 通塾による受験対策

3- (12) 病院受診の年度別の推移 (延べ人数)

受診科 年度別	内 科 小児科	耳鼻科	歯 科	眼 科	外 科	皮膚科	心 療 内科他	合 計	受診合計 365
2022 年度	232	33	28	22	5	106	165	591	1.62
2021 年度	250	44	35	31	7	130	122	652	1.79
2020 年度	225	50	68	44	12	79	87	565	1.55
2019 年度	307	66	39	42	49	39	137	679	1.86
2018 年度	260	76	94	42	28	119	72	691	1.89
2017 年度	236	61	71	37	21	112	71	609	1.67
2016 年度	254	56	101	31	36	70	76	624	1.71

3- (13) 幼児の健康診断

月 日	児童数	医療機関	月 日	児童数	医療機関
2022 年 7 月	4	いとう脳神経内科 (内科検診)	2022 年 12 月	2	久保田歯科 (歯科検診)
2023 年 2 月	4	〃			

3- (14) 予防接種の実施状況

年 月	予防接種の種類	対象児	対象人数
2022 年 4 月	コロナワクチン	小学生	7
2022 年 5 月	コロナワクチン	小中高生	19
2022 年 6 月	コロナワクチン	中高生	6
2022 年 8 月	日本脳炎	高校生	3
〃	二種混合	小学生	2
2022 年 10 月	コロナワクチン	幼児・小学生	9
2022 年 11 月	コロナワクチン	幼児・高校生	4
〃	インフルエンザ	小中高生	22
〃	子宮頸がん	高校生	2
2022 年 12 月	コロナワクチン	中高生	8
〃	インフルエンザ	幼児・小中高生	18
2023 年 1 月	コロナワクチン	幼児・小学生	2
〃	インフルエンザ	幼児	4
2023 年 2 月	日本脳炎	小学生	5
2023 年 3 月	日本脳炎	小学生	1

※インフルエンザ予防接種率 82%

3- (15) コロナウイルス感染症対策

感染症対策として、自動手指消毒器やうがいコップホルダー、飛沫防止パーテーション、加湿器付空気清浄機、ゴミ箱の追加（マスク用など）、アルコール消毒液、抗原検査キット、防護服、N95マスク、ニトリル手袋、防護キャップなどを購入し、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めた。また、ドアノブや階段手すり、リモコンやテーブル、パソコンなどの身の回りの手に付きやすいところのアルコール消毒の徹底を行なった。ホームや廊下などの清掃についても80%以上のアルコールはもちろんのこと、酸性水やアルカリ水も活用しながら清潔を保つように努めた。今後も感染症発生状況を観察し、個人衛生と環境整備、基本的な感染予防を徹底して蔓延防止に努める。

3- (16) 心理療法の実施状況 ()は前年度実績

内 容	心 理 療 法	心 理 検 査	生 活 面 接	職員への 助 言	ケース会議 等への出席	※その他	計
回 数	224 (281)	0 (2)	40 (163)	10 (12)	9 (46)	155 (487)	438 (991)

3- (17) 里親支援の実施状況

支援項目	内 容	実施状況
家庭支生活体験 (週末里親実施状況)	日程調整や里親への情報提供を行い、入所児童が週末などを利用して里親宅で家庭生活を体験する。	一時里親(冬季) 対象児童4名
里親家庭訪問・相談	里親家庭を訪問し、意向の確認や一時里親に向けての打ち合わせを実施する。また養育里親からの相談を電話等で受け対応する。	年12回
児童相談所との連携	児童福祉司・里親担当と電話や面会で打ち合わせや里親対象児童についての協議等を行う。	年50回
里親登録前・基礎研修の受入	里親支援専門相談員が中心になってプログラムを作成し実施する。	基礎実習3組4名 登録前実習5組7名 専門里親実習1名 更新実習1名
各研修会・会議への参加	里親等推進委員会、里親支援専門相談員学習会等に参加し(ズーム含み)、他の里親支援専門相談員や関係機関との情報交換や里親支援業務の確認を行う。	年20回
養成校実習生への講話	里親制度、里親支援専門相談員の業務について講話を実施する。	年10校35名
FCP(フォスタリングチェンジプログラム)の参加	里親養育スキル向上のための研修にファシリテーターとして参加する。	前期11回(盛岡) 後期11回(奥州) フォローアップMTG2回
里親制度啓発活動	一関市内図書館、管内ショッピングセンター、保健センターでの里親啓発パネル展を実施する。管内市町役場に里親啓発ブースを設置する。	年11回

3- (18) 食育の実施状況

月 日	内 容	対象児童	参加児童数
2022. 06. 18	エスニック料理に挑戦しよう	高校 3 年女子	3
2022. 07. 02	自分たちでお昼ご飯をつくってみよう	小 1・2 年男児	2
2022. 08. 20	めん料理を作ってみよう	小学 4 年女児	2
2022. 09. 03	夏の野菜を使って料理を作ろう	小学 5 年女児	2
2022. 09. 17	めん料理を作ってみよう	小学 4 年生	3
2022. 09. 23	夏の野菜を使って料理を作ろう	小学 6 年	2
2022. 10. 15	ブランチ風パンケーキワンプレートを作ろう	中学 1・2 年	4
2023. 02. 04	昼食の献立を立ててみよう」	高校 1 年男子	2

3- (19) 自主献立実施状況

ホーム名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ミ カ エ ル												
フ ラ ン シ ス コ				10 日			8 日					
ガ ブ リ エ ル		29 日	25 日	27 日	31 日	24 日	24 日	26 日	17 日	28 日	25 日	
ル カ	18 日		26 日	23 日	26 日							
ラ フ ァ エ ル		3 日										
テ レ サ		15 日	26 日				13 日		10 日			5 日
マ リ ア		7 日	11 日					23, 27 日				

※自主献立は子どもの要望を聞いて献立を立て買い物から調理までを行うこと

3- (20) 行事食の状況

月	行 事	献 立 名
4 月	入学式 復活祭 昭和の日	赤飯 まぐろ刺し身 入り鶏 おひたし (たまご) 他 ちらし寿司 プリン ローストチキン フライドポテト いちご 等 味付きおこわ 豚汁 青菜の白和え フルーチェ
5 月	憲法記念日 みどりの日 こどもの日 開園記念日	焼き肉 焼き野菜 たこやき いちご 他 手巻き寿司 なめこ汁 フルーツ杏仁豆腐 カレーうどん オムライス ワンタンスープ フルーツゼリー 柏餅 まぐろ刺し身 ポテト煮 お浸し いちご 紅白大福
7 月	手作りおやつ 七 夕 丑の日 海の日	パンナコッタ あんずジャム添え ビビンバ丼 中華風スープ お星さまナタデココゼリー 牛すき焼き丼 すまし汁 あんころ餅 海鮮かき揚げ丼 あさり汁 浅漬け フルーツ杏仁豆腐

3-(22) 行事食の状況

月	行 事	献 立 名
8 月	巻寿司の日 山の日 終戦記念日	手巻き寿司 なめこ汁 フルーチェ Myサンド トマトスープ 果物 味付けぶかし あさり汁 天ぷら 果物
9 月	防災の日 (非常食) 敬老の日 秋分の日 十五夜	せんいのめぐみパン、ひだまりパン (チョコ)、鶏肉のトマト煮込み他 ちらし寿司 なめこ汁 フルーツ杏仁豆腐 きのこご飯 芋の子汁 青菜和え フルーツゼリー だんご 枝豆 栗 さつま芋 りんご ぶどう 梨
10 月	藤の園運動会 スポーツの日 手作りおやつ	弁当 ぶどう 飲み物 味付きおこわ (栗入り)、鶏団子汁、キャベツポテト炒め、フルーツゼリー 南瓜プリン (ハロウィン)
11 月	文化の日 勤労感謝の日	栗ご飯 けんちゃん汁 青菜の白和え フルーツゼリー わかめごはん 山形風芋の子汁 青菜のごま和え フルーチェ
12 月	サンタニコラオ 冬 至 クリスマスイブ 子どものクリスマス会 大みそか	手作りサンタクッキー りんご 小倉南瓜 ちらし寿司 あさり汁 浅漬け フルーツゼリー ご飯 ローストチキン コンソメスープ マッシュサラダ お浸し ケーキ ミニバイキング そば汁 尾頭付鯛 煮しめ 口取り スルメ オードブル
1 月	お正月 七草 成人の日	雑煮餅 紅白なます 黒豆 伊達巻 刺し身 エビフライ 他 七草がゆ きな粉もち みかん ちらし寿司 なめこ汁 浅漬け フルーツ杏仁豆腐
2 月	節 分 立 春 建国記念の日 (鍋の日) 天皇誕生日 卒園生希望献立	恵方巻き 豚汁 豆大福 豆まき (落花生) 春野菜のかき揚げ丼 すまし汁 フルーツヨーグルト 浅漬け 果物 ご飯 寄せ鍋 果物 ミートスパゲティ 野菜のポトフ 果物 海鮮丼 ポテトミートグラタン
3 月	ひな祭り 3年生を送る会 卒業式 卒園式 東日本大震災の日 (非常食) 春分の日	春のちらし寿司 なめこ汁 浅漬け 桜もち バイキング 赤飯 まぐろ刺し身 エビフライ 海鮮丼 他 あんしんおかゆ 牛肉どて煮 カンパン 果物 ご飯 みそ汁 さけの梅みそ焼き 山菜炒め つぼみ菜の白和え 果物

○子ども給食委員会

クリスマス会や卒園生を送り会などの食事のメニューについて、子どもを交えての話し合いを設け、子どもたちの意向を聞いて献立に反映させています。

○非常食の提供

9月1日の防災の日と3月11日の東日本大震災の発生日に合わせて備蓄している非常食を献立に取り入れています。

○野菜の栽培

畑を着用し、トマト、キュウリ、ナス、ピーマンなどの野菜を栽培し、野菜を育てることや収穫することの楽しさを体験しています。

4. 人事・労務・人材育成関係

【2022年度人事・人材育成の総括】

2022年度は、年度当初に3名の新職員（保育士）を採用し39名の職員でのスタートとなりました。年度途中で児童指導員2名（正職員1名、パート職員1名）、栄養士1名（正職員）、宿直専門員1名（パート職員）を採用し事業を進めることができました。

1年間を通して、新型コロナウイルス感染症への対応や安定・安心できるユニット生活の維持、子どものニーズへの対応など、24時間365日、日々の業務に追われる1年間でした。

2022年度は、児童への不適切な関わりがあったことから法令遵守や施設内虐待防止について、職員研修を実施するなど職員への徹底を図りました。不適切な関わりについては、職員に余裕がないことや情報等の共有が機能せず、職員が課題を抱え込んでしまうことに一因があると考えられることから、日頃からの職員同士の関係や相談できる雰囲気作りが大切だと考えています。そのようなことから、会議や打ち合わせ等による情報の共有、働きやすい職場の構築、処遇改善、職員のメンタルヘルスや問題の抱え込みの防止などの改善に努めました。具体的な改善施策として勤怠管理システムによる勤務時間の管理、処遇職員の休日を増やす就業規則の改正、給料表の抜本的な見直しによる基本給の引き上げ、社会的養護従事者処遇改善手当の全職員への支給、職員のメンタルヘルス対策として、学校カウンセラーによる職員面談を実施するなどの対策を講じました。

人材の育成については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり外部研修への参加が難しい状況でしたがズーム形式による研修会の参加や園内研修にも力を入れました。また、人材育成研修計画及び人材育成実施要綱を新たに策定し人材育成を進めています。

4-1) 2022年度人事・労務・研修の重点施策

	重点施策項目	具体的成果や課題
1	人材確保と職員の適正配置	年度途中で4名の職員を採用しました。家庭支援専門相談員と個別対応職員が兼務となっています。新型コロナウイルス感染症の罹患等もあり、余裕のない職員体制となっています。定員の見直しを含めて職員体制のあり方を検討していく必要があります。
2	業務内容の見直しと改善	職員のフォロー体制を見直しユニットのみで完結するのではなくフロア間で業務を分担するなど工夫しながら業務に当たっています。また、必要に応じて専門職や事務員がフォローに入るなど柔軟に対応できるようになってきています。
3	働きやすい職場の推進	勤怠管理システムの導入や休日増により以前よりも勤務時間を意識するようになりました。職員同士の連携や協力体制、職員間の信頼関係が働きやすい職場に繋がることから職員の意識も変わってきました。
4	職員の教育・研修の充実	新型コロナウイルス感染症の影響もあり外部研修への参加が難しい状況でしたが、オンラインを活用し様々な分野でスキルアップを図りました。また、園内研修についても他分野の講師を招き、様々な知識を吸収することに努めました。
5	職員の健康管理とメンタルヘルスの推進	職員が、問題を抱え込まないように学校カウンセラーが週1回来園し必要に応じて面談を実施しています。また、主任会議やフロア会議等を実施し悩みを抱え込まないようにしています。健康診断についても項目を増やしました。

4-1(2) 職員の状況 (2023年3月31日現在)

職 種	園 長	副 園 長	事 務 員	指 導 員	保 育 士	栄 養 士	調 理 員	F S W	個 別	心 理	看 護 師	里 親	宿 直 員	合 計
正 職 員	1	1	3	4	17	1	4	1	1	1	1	1		36
パート職員				1	3								3	7
現 員 数	1	1	3	5	20	1	4	1	1	1	1	1	3	43

※ 副園長 (FSW 兼務)、FSW (基幹的職員兼務)、保育士 (個別対応職員兼務)

【2022 年度年度退職者】

・保育士 (正職員) 2 名 ・保育士 (パート職員) 2 名 ・栄養士 (正職員 1 名)

【2022 年度中途採用】

・児童指導員 (正職員) 1 名 ・児童指導員 (パート職員) 1 名 ・栄養士 (正職員) 1 名
・宿直専門員 (パート職員) 1 名

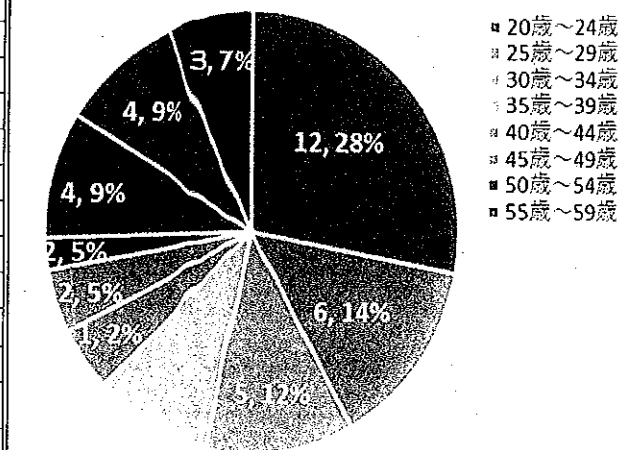
【2023 年度年度採用】

・保育士 4 名 (正職員) ・調理員 1 名 (正職員)

4-1(3) 職員数の推移 (2023年3月31日現在)

平均年齢 男性 33.4 歳 (宿直専門員含まず) 女性 37.7 歳 全職員 36.2 歳

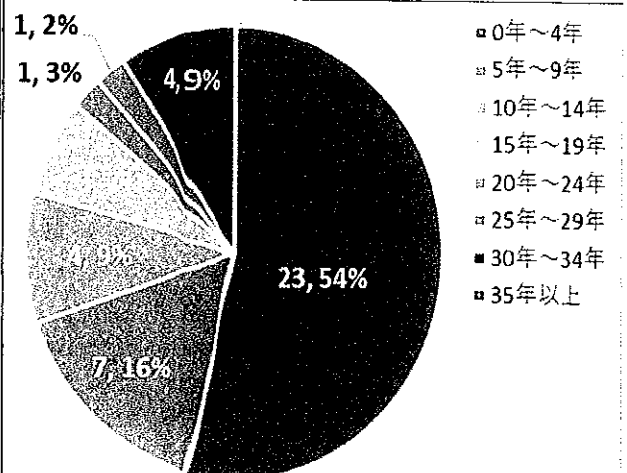
年 代	男	女	計	比率
20 歳～24 歳	5	7	12	27.9%
25 歳～29 歳	2	4	6	14.0%
30 歳～34 歳	3	2	5	11.6%
35 歳～39 歳	1	3	4	9.3%
40 歳～44 歳	0	2	2	4.7%
45 歳～49 歳	0	2	2	4.7%
50 歳～54 歳	1	0	1	2.3%
55 歳～59 歳	1	3	4	9.3%
60 歳～64 歳	1	3	4	9.3%
65 歳～69 歳	0	0	0	0.0%
70 歳以上	3	0	3	7.0%
計	17	26	43	100.0%



4-1(4) 経験年数構成 (2023年3月31日現在)

平均勤続年数 男性 8.43 年 (宿直専門員含まず) 女性 9.42 年 全職員 9.08 年

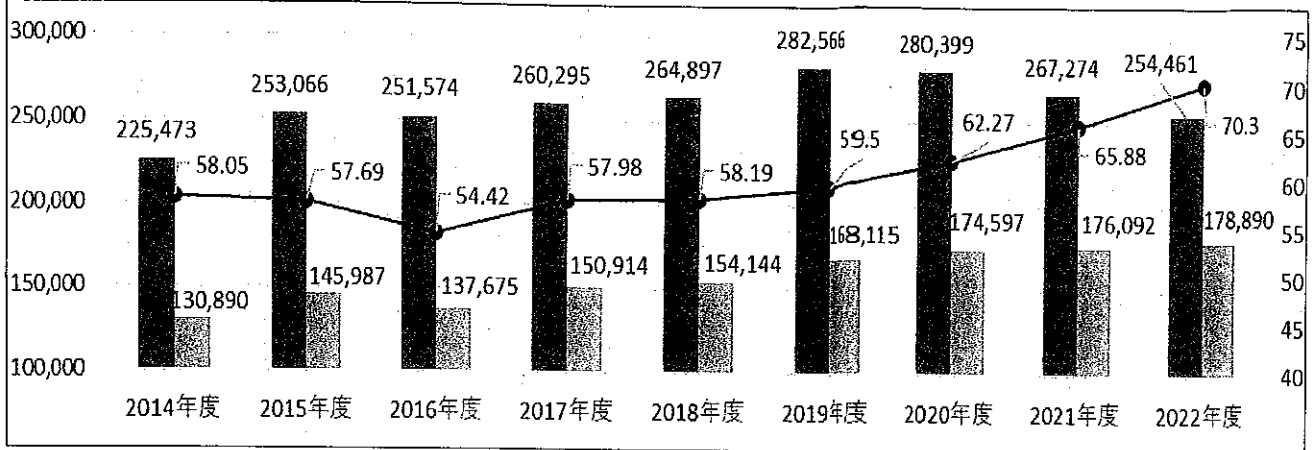
経験年数	男	女	計	比率
0 年～4 年	8	15	23	53.5%
5 年～9 年	4	3	7	16.3%
10 年～14 年	2	2	4	9.3%
15 年～19 年	1	2	3	7.0%
20 年～24 年	0	1	1	2.3%
25 年～29 年	1	0	1	2.3%
30 年～34 年	0	0	0	0.0%
35 年以上	1	3	4	9.3%
計	17	26	43	100.0%



4-5) 人件費の推移(2022年度事業活動収支計算書より)

(単位:千円)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	前年比
措置費収入	225,473	253,066	251,574	260,295	264,897	282,566	280,399	267,274	254,461	95.21
人件費	130,890	145,987	137,675	150,914	154,144	168,115	174,597	176,092	178,890	101.59
人件費率	58.05	57.69	54.42	57.98	58.19	59.50	62.27	65.88	70.30	+4.42



4-6) 内部研修の状況

日 時	研 修 名	参加者	研 修 内 容
2022. 3 月 ～6 月	新任職員研修 (講師: 園長、副園長、基幹的、 専門職等)	4	新任職員を対象に基本理念、子どもとの関わりについて留意すること等を学びました。
2022. 5. 11	地域福祉の推進～福祉課題の対応と職員としての成長～ 講師: 一関市社協 菅原 敏 氏	30	改正社会福祉法における地域福祉、個別支援と地域支援など福祉に携わる職員としての姿勢等について学びました。
2022. 6. 8	福祉サービス第三者評価研修会 岩手県社会福祉協議会	26	福祉サービス第三者評価を受審するにあたり、評価のポイント等について理解を深めました。
2022. 7. 5	FTC ミニセミナー	25	里親のために開発された、里親が家庭で実践することにより子どもの安定と里親自身が自信を持てるプログラムについて学びました。
2022. 9. 14	食への興味関心を高め、大切さを学ぶ研修会 講師: タカコナカムラ 氏	35	食の大切さを学び、日々の暮らしの中で子どもたちに伝えていくことの大切さを学びました。特に「ホールフード」について理解を深めました。
2022. 10. 12	法令遵守研修会 講師: 橋本理事長	32	コンプライアンスチェックシート(7月実施)集計結果について 橋本理事長より説明
2022. 11. 9	権利擁護研修会	30	「令和2年度の被措置児童等虐待への各都道府県市等の対応状況」を全職員で読み合わせを行い、いわてこどものけんりノートを活用しグループ毎に日常の養育支援について振り返りをしました。
2023. 2. 15	メンタルヘルス ～運動と神経伝達物質～ 講師: 伊藤 久雄 氏	32	メンタルヘルスを維持するためにはスポーツが大切であること。労働は生活を維持するための神経運動。労働以外の運動が必須であることなどを学びました。

4-(7) 外部研修の状況

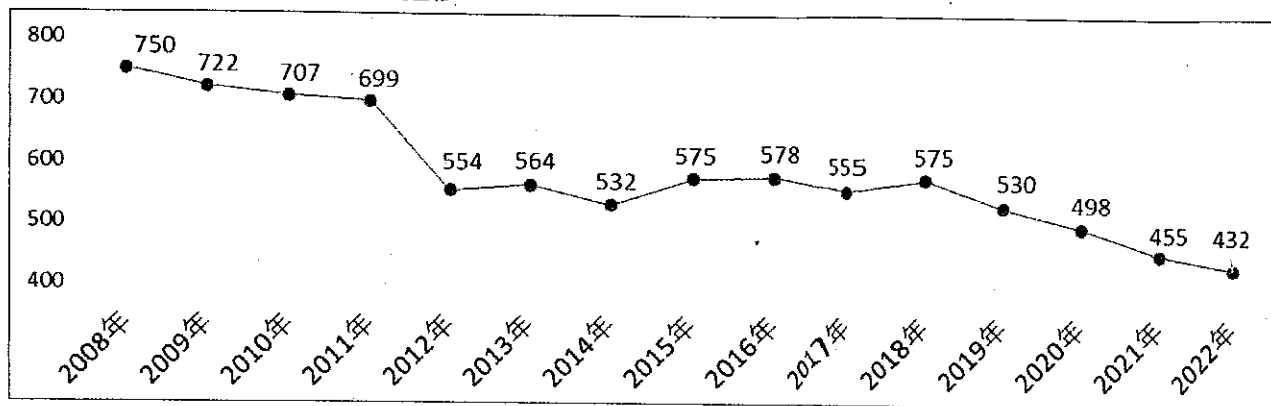
日 時	研 修 名	主催団体名	開催場所	参加職員名
年 間	里親支援勉強会	岩養協	ZOOM 他	佐藤道
5.10	大洋学園視察	一関藤の園	大船渡市	佐藤麻
6.30～7.1	東北 B 児童養護施設研修会	東北 B 児童協	八戸市	渡部他 2 名
7.27	事業継続計画（BCP）策定セミナー	岩手県経営協	ZOOM	遠藤
9.9	日本カトリック東北 B 施設長研修会	日本カトリック協会	仙台市	渡部
9.8～10	日本カトリック児童施設協会 東北ブロック職員研修会	日本カトリック協会	仙台市	渡部 小野寺雄
9.10	SBI ブロック別 児童養護施設職員リーダー研修	SBI 子ども希望財団	ZOOM	遠藤 小野寺雄
9.27	接遇講習会	ソエルクラブ	ZOOM	宮守
10.26	発達障害児の偏食の特性と支援	NPO 法人チャイボラ	ZOOM	千葉美他 3 名
10.28	子ども中心に考える里親養育と連携	NPO 法人チャイボラ	ZOOM	佐藤道
11.4～5	里親支援にアクションを起こす「協働のチカラ①～②」	NPO 法人チャイボラ	ZOOM	佐藤道
11.10～	全国児童養護施設長研修	全養協	ZOOM	渡部
11.15	日本栄養士会福祉スキルアップ研修会	日本栄養士会	ZOOM	熊谷
11.22	岩手県子ども虐待フォーラム	岩手県	盛岡市	渡部
12.3	里親交流研修会	岩手県里親会	盛岡市	佐藤藤
12.12	岩手県児童福祉施設等職員向け児童虐待対応研修	岩手県	盛岡市	千葉麻
1.26	食品衛生責任者養成講習会	岩手県	奥州市	白浜 小野寺香
2.6	日本栄養士会福祉スキルアップ研修会	日本栄養士会	ZOOM	熊谷
2.11～12	ファミリーソーシャルワーク研修会	全養協	神奈川県	千葉麻 千葉有
2.14	児童養護施設協議会 全体研修会	岩養協	盛岡市	渡部他 3 名
3.6～	全国児童養護施設中堅職員研修会	全養協	ZOOM	白浜 塚澤
3.8	福祉施設・児相交流研修会	一関児相	一関市	村田
3.20	施設間交流研修会	児童協	盛岡市	千葉麻

5. 入所児童に関する統計

5-1(1) 初日在籍数

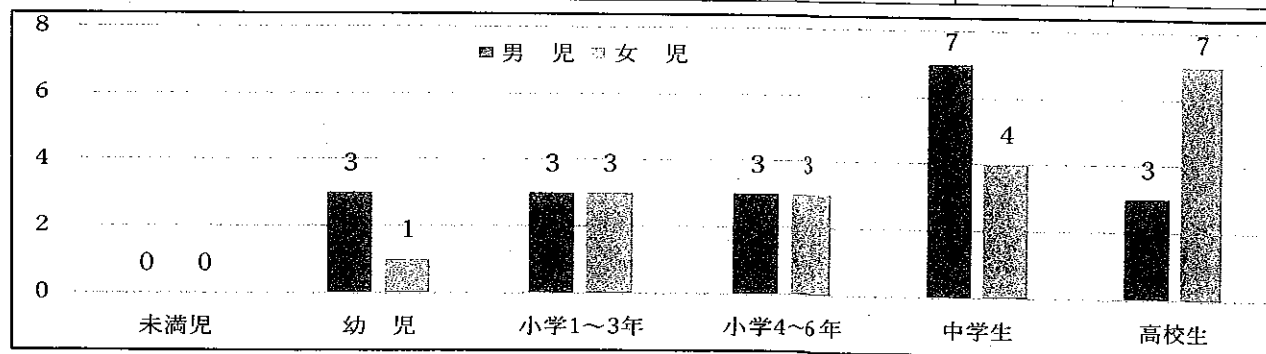
区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初日在籍数	33	35	35	37	37	37	37	37	37	37	35	35	432
3歳未満児	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年少児	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	44

5-1(2) 年度別初日在籍数の推移



5-1(3) 学年別の内訳（2023年3月1日現在）

	未満児	幼児	小学1～3年	小学4～6年	中学生	高校生	計
男児	0	2	2	2	8	4	18
女児	0	2	0	6	2	7	17
計	0	4	2	8	10	11	35



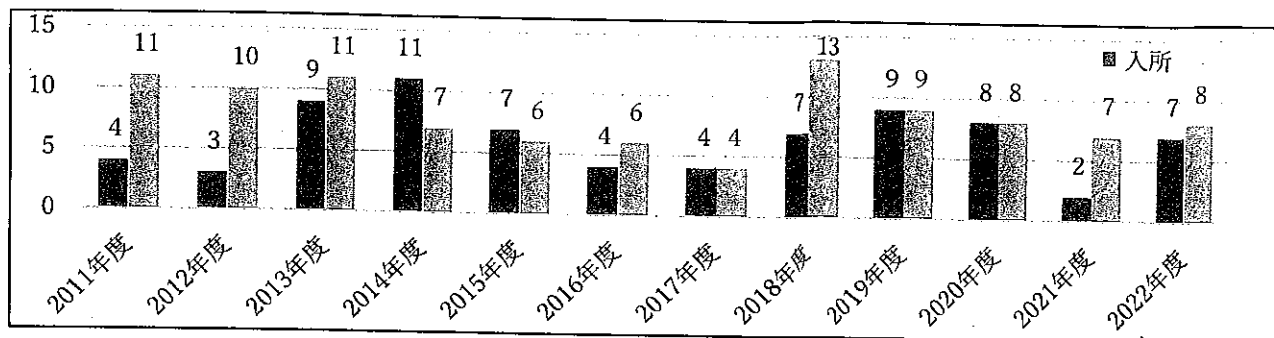
《高校在学先》

一関第一高等学校 一関第二高等学校 千厩高等学校 花泉高等学校 清明支援学校高等部
一関学院高等学校（通信制） 角川ドワンゴ学園S高等学校（通信制）

5-4) 入所退所の状況

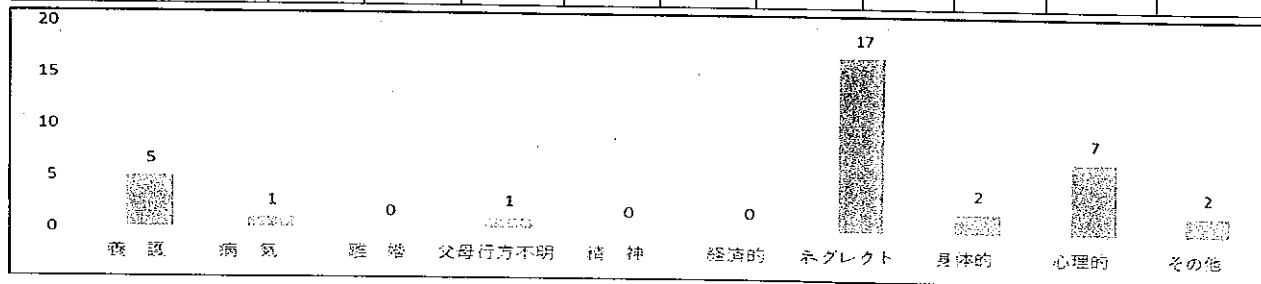
区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入 所	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	7
退 所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	5	8

5-5) 年度別入退所の推移



5-6) 入所原因別内訳 (2023年3月1日現在)

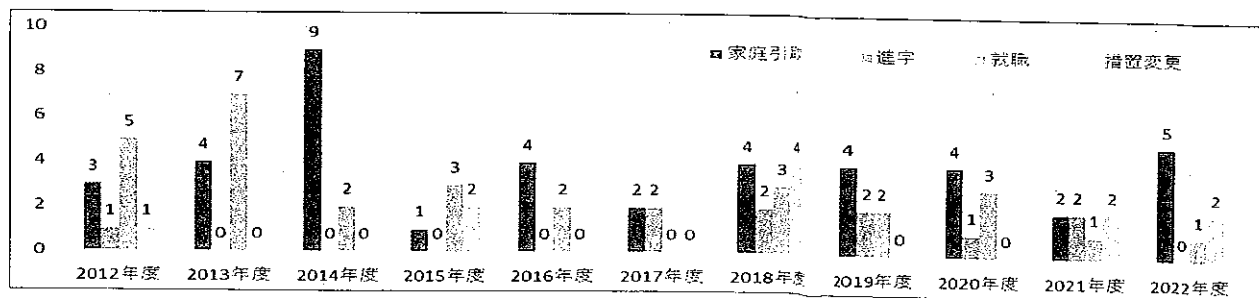
理 由	養 護	病 気 入 院	離 婚	父母行 方不明	精 神 障 害	経済的 破 綻	ネグレクト	身体的 虐 待	心理的 虐 待	その他	計
児童数	5	1	0	1	0	0	17	2	7	2	35
比 率	14.3	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	48.6	5.7	20.0	5.7	100.0



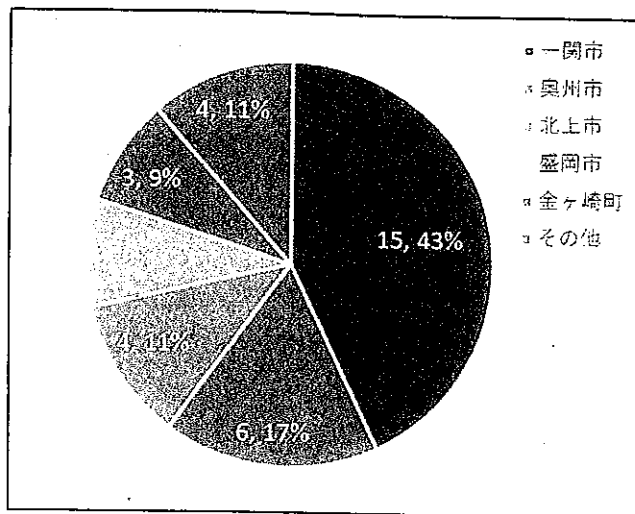
5-7) 退所原因別内訳

理 由	家庭引取	進 学	就 職	措置変更	計
児童数	5	0	1	2	8

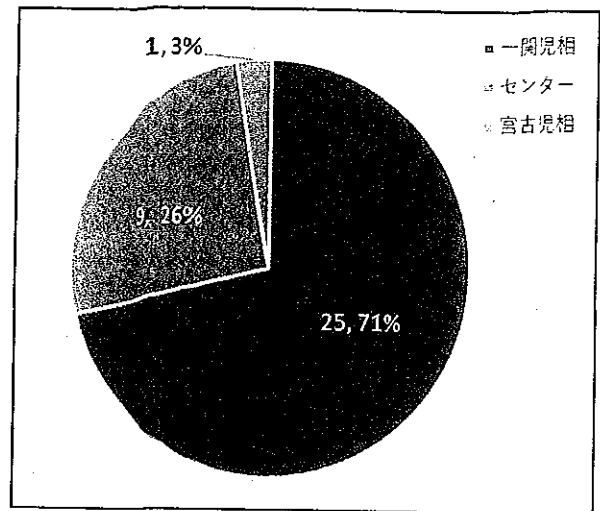
5-8) 年度別退所原因別内訳の推移



5-⑨ 入所時住所・児相別内訳（2023年3月1日現在）



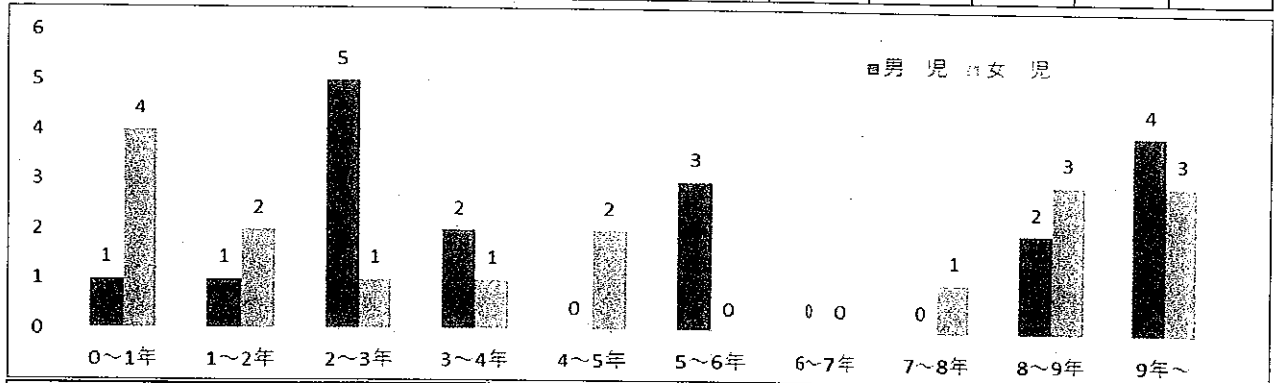
【入所時住所内訳】



【児童相談所別内訳】

5-⑩ 在園期間の内訳（2023年3月1日現在）

	0～1年	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5～6年	6～7年	7～8年	8～9年	9年～	計
男 児	1	1	5	2	0	3	0	0	2	4	18
女 児	4	2	1	1	2	0	0	1	3	3	17
計	5	3	6	3	2	3	0	1	5	7	35
率	14.3	8.6	17.1	8.6	5.7	8.6	0.0	2.9	14.3	20.0	100.0



○入所児童は、東日本震災を契機に減少傾向にあります。2012年度から初日在籍児童数は、550名前後で推移していましたが、2020年度からは500名を割り込んでいます。2022年度は432名であり入所率は、70%となっています。

○2023年度の児童の構成予定は、幼児が4名、小学生が8名、中学生が9名、高校生他14名となり、合計で34名のスタートになります。小学生が少なく中高生の高齢児の割合が高くなっています。

○入所期間をみると、3年未満の児童が3割、8年以上在籍している児童が3割となっています。「子どもの最善の利益」を第一に入所前から退所後までの支援方針や支援方法を丁寧に進めていくことが求められています。

6. 設備・修繕・保守の状況

6-(1) 固定資産関係

(単位：円)

取得年月	資 産 名	数量	取得価格	勘定科目	業 者 名
2022. 05. 20	アンペア交換工事 (マリア院)	1	772,200	建 物	オヤマモバイル(有)
2022. 04. 19	樹木植栽・雑木伐採工事	1	4,589,227	構築物	(有) 栗駒緑地
2022. 07. 29	セレナ 平泉 500 そ 3265	1	2,150,470	車両運搬具	旭自動車工業(株)
2022. 10. 19	セレナ 平泉 500 そ 3888	1	2,437,800	〃	〃
2022. 04. 15	業務用冷凍庫	1	480,150	器具・備品	ホシザキ東北(株)
2022. 08. 05	エアコン (マリアホーム)	1	116,710	〃	オヤマモバイル(有)
2022. 08. 05	エアコン (マリアホーム)	1	127,700	〃	〃
2022. 07. 28	ルーター (NW セキュリティシステム)	1	540,122	〃	エクナ (株)
2022. 08. 30	ノートパソコン (子ども用 1F~3F)	3	385,440	〃	〃
2022. 08. 30	ノートパソコン (子ども用マリアホーム)	1	128,489	〃	〃
2022. 09. 16	電解水生成装置	1	874,280	〃	ホシザキ東北(株)
2022. 05. 13	Miss ヘルパー栄養管理システム	1	297,000	ソフトウェア	エクナ (株)
2022. 09. 01	下水道負担金	1	1,341,888	繰延資産	一関市

6-(2) 主な修繕・修理関係

(単位：円)

年 月	修理・修繕名	支出額	勘定科目	業 者 名
2022. 05. 13	浄化槽舗装工事 (地震被害)	242,000	修繕費支出	大森工業 (株)
2022. 07. 15	機械室設備機器交換工事(地震被害)	118,580	〃	大成温調 (株)
2022. 09. 15	本園西階段補修工事 (地震被害)	136,070	〃	(株) 鈴木製板
2022. 09. 15	本園廊下収納棚補修工事(地震被害)	105,600	〃	〃
2023. 01. 01	マリア院 2 階東側事務室窓設置工事	627,000	〃	〃

6-(3) 設備保守関係

(単位：円)

年 月	保 守 点 検 名	業 者 名	備 考
毎 月	エレベーター保守点検	(株) 日立ビルシステム東北支社	異常なし
毎 月	浄化槽保守点検	セレクトクリーン花泉 (有)	〃
毎 月	冷暖房設備保守点検	大成温調 (株)	〃
随 時	厨房機器	ホシザキ東北 (株)	—
年 2 回	消防機器設備保守点検	旭電通 (株)	〃
	電気設備保守点検	電気保安協会	〃
	パソコンネットワーク保守他	エクナ (株)	〃

令和4年度

認定こども園一関藤保育園
事業報告

(自)令和4年4月1日(至)令和5年3月31日

社会福祉法人 ふじの園

1. 認定こども園—関藤保育園基本理念・基本方針

◇社会福祉法人ふじの園基本理念・教育保育理念

『キリストの愛と光によって導かれた

子どもたちの尊厳と幸福を目指します』

◇基本方針

キリスト教精神に基づき、可能性に満ちた一人ひとりの子どもたちは、より善いものを指向できる自由意志、美しい物に感動する豊かな感性を備えている。神から与えられたかけがえのない人格として受けとめ個々の与えられた内的、外的生命力を十分発揮できるように相互の人格を尊重し、他者の立場を理解し合うことにより、思いやりや豊かな社会性が身につくように育む。

2. 施設運営関係

◎施設運営の総括

幼保連携型認定こども園の取り組みとして、事業費収入の対象である幼稚園型預かり保育事業、延長保育事業、障がい児保育事業を引き続き行う。幼稚園型預かり保育は新2号児と満3歳児が対象となる。運営費となる園児数による施設型給付費に、給付費等加算は基本加算部分の処遇改善Ⅰ・副園長配置・学級編制調整・給食実施・副食費徴収免除（1号・2号児）、特定加算部分は療育支援・事務職員配置・処遇改善Ⅱ・冷暖房・栄養管理加算は年間を通じ加算された。処遇改善臨時特例交付金については年度末に加算となった。

コロナ感染により令和3年度の卒園式後園児のコロナ発症でクラスターとなり、令和4年度4月1日に予定していた入園式は中止。1日、2日の両日休園措置をとる。19日から1歳児クラス園児その兄弟の5歳児クラス園児発症、担任が濃厚接触者、又、担任1名の発症が確認され再び学級閉鎖となる。8月には、お盆間際の9日0歳児1名発症10日から学級閉鎖、職員3名濃厚接触者、12日から2歳児兄弟の4歳児発症のため15・16日休園措置をとる。9月に入り2歳児クラス担任発症。学級閉鎖は1日のみで運動会は発症職員のみ自宅待機、学年別、時間差、有観客でなんとか開催する。

もう一つ園の大きな行事であるクリスマスお遊戯会は、18日に開催するものの、その前後に職員4名の発症が確認され、担任をしているクラスがその都度学級閉鎖措置となる。12月コロナ関係で特休措置をとった職員は計14名となった。年が明けて1月は、1歳児クラス担任2名発症のため学級閉鎖措置をとる。対応は保健所の指導によって行ってきた。年度前半はかなり厳しく休園措置や担任全て即濃厚接触者10日間自宅待機など出勤できる職員の確保に苦慮したが、国の方針は変化する中、後半は濃厚接触者の判定やそれに伴った学級閉鎖措置など園の判断となったことでずいぶん緩和された。園で契約している職員の損害保険においてコロナ感染の際の保険金対象は9月までの感染者4名までで、その後の発症職員は多数いたが対象外となる。また、休園、学級閉鎖等で登園出来なかった保育料発生園児については、1割り計算にて保育料の返金がされた。子の返金制度も令和4年度末で終了となる。ちなみに対象園児は、0歳児4名・1歳児11名・2歳児4名であった。

3. 入所児童関係

◎年齢別入所状況

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
乳児	5	5	5	5	5	5	6	6	6	7	7	7	69
1～2歳児	28	28	28	28	28	28	29	29	29	29	30	31	345
3歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
4歳以上児	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	612
合 計	104	104	104	104	104	104	106	106	106	107	108	109	1266

◎入所児内容概略

① 組別編成

(令和5年3月31日現在)

組 別	年 齢	人 数	保育教諭数
つばみ組	0歳児	7	3
ちゅうりっぷ組	1歳児	15	3
たんぽぽ組	2歳児	16	2
もも組	3歳児	20	3
すみれ組	4歳児	13	1
	5歳児	12	1
ばら組	4歳児	14	2
	5歳児	12	1
合 計		109	16

② 年齢別編成

(令和4年4月1日)

組 別	男	女	計
0歳児	1	4	5
1歳児	8	6	14
2歳児	5	9	14
3歳児	12	8	20
4歳児	13	14	27
5歳児	15	9	24
合 計	54	50	104

③ 認定区分

(令和4年4月1日)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1号(教育認定)	/	/	/	6	7	1	14
2号(保育認定以上児)	/	/	/	14	20	23	57
3号(保育認定未満児)	5	14	14	/	/	/	33
合 計	5	14	14	20	27	24	104

◎入所児童の総括

教育認定（1号認定）定員15名に対し14名（3歳児6名・4歳児7名・5歳児1名）保育認定（2号・3号認定）は90名定員に対して90名、計104名でのスタートとなる。4月の時点で0歳児は定員を満たしていたが、保育ニーズの多い0歳児クラスは、10月、1月に母親の復職の関係で在園児の弟妹1名ずつ入所、5名定員に対し在籍7名となる。1歳児クラスも要望が多く2月、3月に1名ずつ受け入れる。2歳児クラスの園児は在籍中に満3歳を迎えるので、満3歳児の教育認定が受け入れ可能なため5月で満3歳になった男児、教育認定（1号認定）入所希望児を10月から1名受け入れ、3月の時点で定員105名に対し、109名の受入れとなる。

4. 人事・人材育成関係

◎人事総括

新卒保育教諭1名、保育補助パート職員1名を採用し、職員22人体制でスタートし7月に育休職員復帰で23名となるが8月に1名産休に入ったため22名、12月いっぱいでは栄養士1名が急遽退職希望があり給食室は栄養士1名調理員1名となる。3月にもう1名の育休職員が復帰で令和4年度最後の1か月は22名の職員となる。年度中、保育教諭に関して育休復帰職員、産休取得職員のため増減があるがクラス運営に支障がないようその都度必要に応じて配属を変更し、給食室に関しても2月から短時間アルバイト職員で調整する。4歳児クラスに障がい児認定児2名在籍のため児童27名に対し3名の担任配置とする。また、5歳児については、在籍24名中特別療育支援が必要な児童10名と半数を占めているので担任2名に介助の職員が入りフォローする。

◎人材育成関係総括

キャリアアップ研修は、前年度に引き続き加算Ⅰの対象職員がオンライン研修を受ける。この他に、特別支援担当者向けの研修、モンテソーリ教育研修、給食担当者向けのオンライン研修も受けることが出来た。新任職員1名は、今年度も一関市内在住者で地元施設就職という事で育成補助金対象者になり、300時間のOJTを実施する。モンテソーリ教育の研修については、教育者養成コース卒職員が教員指導など園内研修でも指導しその都度職員が研修する。

実習生受け入れに関しては、要望が多く、学生側も園側も双方で感染状況に不安があるなか万全の対策を講じながら、幼児教育学科と食物栄養科の実習生の受け入れをした。中学生の職場体験事業はコロナ禍ということで前年度は見合わせたが今年度は一関中学校、桜町中学校、磐井中学校の3校を受け入れ実施する。

◎職員研修

研修名	実施日	内容	参加者
コンプライアンス 研修	4月14日	「事例から見た危機管理」 法人小山顧問 ～リスクマネジメントのポイント～	職員10名
	5月10日	「エッセンシャルワーカーの処遇改善」	職員11名
	11日	「児童福祉法改正」 理事長	職員9名
	5月17日	「保育現場における適切な声掛け」 園長	職員10名
	6月23日	「就業規則 服務規律」 園長	職員10名
	7月27日	コンプライアンスチェックシートについて	職員8名
	28日	、理事長	職員9名
	8月25日	「ダイバーシティ・インクルージョン」 園長	職員9名
	10月18日	コンプライアンスチェックシート	職員10名
	19日	集計結果報告 理事長	職員9名
キャリアアップ研修	12月2日	「保育士における虐待報道をうけて」 園長	職員8名
	1月18日	「グレーゾーン・パステルゾーン」	職員10名
キャリアアップ研修	9月23日28日	保健衛生・安全対策 盛岡アイーナ	佐藤美香
	10月1～3日	保護者支援・子育て支援 eラーニング	宮本香
	12月5～10日	障害児保育 eラーニング	阿部沙知
特別支援研修	2月	園訪問の体制とクラスづくり 日本相談支援専門員協会 オンライン	菅原亜耶 小野寺萌
モンテソーリ園内研修	第2・4水曜	「総合理論」「教具提供実践」	職員5名
保育協議会園長部会	3月3日	「次年度事業計画・情報交換」 保健センター	斎藤志華子 佐々木利恵

◎実習生・体験学習受け入れ状況 ◎受け入れ校5校◎受け入れ施設1施設 計17名

学校名	実習期間	人数
聖和学園短期大学 幼児教育学科（実習Ⅰ）	7月4日～15日	1
聖和学園短期大学 幼児教育学科（実習Ⅱ）	7月25日～8月5日	
修紅短期大学 幼児教育学科（実習Ⅱ）	8月18日～31日	2
修紅短期大学 食物栄養科	9月5日～16日	1
修紅短期大学 食物栄養科	9月26日～10月7日	1
修紅短期大学 幼児教育学科（実習Ⅰ）	2月13日～27日	1
磐井中学校 2学年	7月6日～8日	3
一関中学校 2学年	9月26日～30日	3
桜町中学校 2学年	11月8日～10日	3
藤の園 高校1学年	8月1日～3日	1
藤の園 高校3学年	10月4・5日	1

◇採用者

小野寺 彩 幸 (保育教諭)
熊 谷 博 子 (保育補助)

◇退職者

渡 邊 久美子 (保育教諭)
熊 谷 博 子 (保育補助)
菅 原 優 太 (栄養士) 12月をもって退職

◇育休者

森 谷 志 織 (保育教諭) 7月より復帰
菅 原 名 央 (保育教諭) 3月より復帰

◇産休者

菅 原 未 歩 (保育教諭) 8月より産休

◎配属・クラス担任

(令和4年度)

配属・クラス名		人数	配属者名
園長		1	斎藤志華子
副園長		1	佐々木利恵
主幹保育教諭		1	佐藤宏美
つぼみ組	0歳児	3	石川京子 (副主幹保育教諭) 菅原優奈・太田初代 (看護師)
ちゅうりっぷ組	1歳児	4	菅原未歩・小野寺彩幸・森谷志織・熊谷博子
たんぽぽ組	2歳児	2	千葉友子・渡邊久美子
もも組	3歳児	3	千田美夕紀・佐藤美香・菅原名央
すみれ組	4歳児	1	阿部沙知
	5歳児	1	菅原亜耶
ばら組	4歳児	2	宮本香・小野寺萌
	5歳児	1	及川源一郎
給食		3	佐藤美希・菅原優太 (栄養士) 夏堀綾香 (調理員)
事務		1	山田幸枝

5. 管理関係

◎職員健康管理

◇一般健康診断 7月26日

◇腸内細菌検査（東和微生物検査所）

・対象職員 保育教諭・給食担当職員

4月7・21日	5月12日	6月9・23日	7月7・21日
8月4日	9月8日	10月6・19日	11月4日
12月8・22日	1月12・26日	2月9日	3月9・22日

◎児童健康管理

◇内科検診（佐藤小児科） 11月8日 全園児

◇歯科検診（久保田歯科） 6月3日 全園児

◇交通安全教室（生活環境課） 6月7日 年長児・年中児 10月4日 年長児

◎避難訓練

日時	訓練種別	想定	参加人数
4月20日	地震	震度3 時刻AM10:00 方法 緊急放送で机下 担当 菅原未歩	児童64名 職員18名
5月26日	火災（総合避難訓練）	時刻AM10:00 出火場所 台東会館 方法 放送後玄関前 担当 阿部沙知・菅原亜耶	児童91名 職員20名
6月14日	暴風雨による水害	時刻AM10:30 大雨、園孤立2階遊戯室全員避難 担当 石川京子	児童96名 職員21名
7月5日	地震	震度4 時刻AM11:00 方法 緊急放送で机下 担当 佐藤美香	児童94名 職員22名
8月23日	不審者	キーワードによる放送 状況に応じて安全な場所に避難 担当 山田幸枝	児童85名 職員20名
9月27日	台風・暴風雨 土砂災害の危険	時刻AM10:00 担当 佐藤美香 身支度をしてヘアーモード学院へ一時避難	児童57名 職員19名
10月20日	火災（総合避難訓練）	時刻AM10:00 出火場所 給食室 放送後園駐車場 担当 菅原優太	児童99名 職員20名
11月17日	地震	震度2 時刻AM16:00 方法 緊急放送で机下 担当 小野寺彩幸	児童78名 職員19名
12月3日	不審者 土曜保育中	キーワードによる放送 状況に応じて安全な場所に避難 担当 小野寺萌	児童14名 職員6名
1月24日	火災	時刻PM4:00 出火場所 つばみ組調乳室 放送後園庭 担当 千葉友子・菅原優奈	児童71名 職員19名
2月14日	地震	震度3 時刻PM3:00 担当 及川源一郎 放送ベルで目覚め、布団をかぶる	児童95名 職員22名
3月14日	地震直後火災発生	震度5 時刻AM10:30 放送ベル合図 様子をみて安全な場所に避難 担当 斎藤志華子	児童82名 職員20名

◇消防設備点検（文林商会）

・10月7日 3月30日

6.年 間 行 事

月 別	行 事			
4 月	1 進級・入園の日 20 避難訓練 15・28布団持ち帰り	14 音楽療法 21 職員会議	15 クッキング(年長) 22 誕生会	28 手作り弁当の日
5 月	12 音楽療法 20 誕生会 13・27布団持ち帰り	13 クッキング(年長) 25 マリア祭	17 職員会議 26 総合避難訓練	19 手作り弁当の日 9 巡回相談
6 月	3 歯科検診 17 誕生会	7 交通安全教室 22 プール開始	9 音楽療法 23 職員会議	14 避難訓練 10・24布団持ち帰り
7 月	5 避難訓練 22 職員会議	6 夏祭りお楽しみ会 8・22布団持ち帰り	7 音楽療法	20 職員会議
8 月	10～20夏季休業(1号認定のみ) 26 誕生会 16～27 ？短大 幼児教育学科 実習生 実習Ⅰ		23 避難訓練 12・26布団持ち帰り	25 職員会議
9 月	8 音楽療法 21 職員会議 11・25布団持ち帰り 6～17 修紅短大 食物栄養学科 実習生 13～27 青葉短大 幼児教育学科 実習生 実習Ⅱ	17 運動会 24 避難訓練 26～30個人面談(年長)	20 避難訓練 27 避難訓練	21 誕生会
10 月	4 交通安全教室 20 総合避難訓練 30 ハロウィーン 25～11/5 修紅短大 食物栄養学科 実習生	6 手作り弁当の日 21 誕生会 8 28布団持ち帰り	13 音楽療法 22 親子レク(年少)	20 親子レク(年長) 4～7個人面談(年中) 11～14個人面談(年少)
11 月	1 クッキング(年長) 15 七五三 11・25布団持ち帰り	4 親子レク(年中) 18 誕生会 21～待降節	8 内科検診 24 職員会議 8～10松町中体験学習	10 手作り弁当の日 30 音楽療法
12 月	3 避難訓練 17 クリスマスお遊戯会 23～1/16冬期休業(1号認定のみ)	6 サンタニコラオ祝祭日 19 職員会議	14・15お遊戯会総練習 23 誕生会 9・23布団持ち帰り	15 手作り弁当の日 29・30・31年末休み
1 月	1.2.3.年始休み 20 クッキング(年長) 13・27布団持ち帰り	13 誕生会 24 避難訓練	18 職員会議 24・31音楽療法	19 手作り弁当の日
2 月	2 誕生会 13～17新入児説明会 10・24布団持ち帰り 2/13～27 修紅短大 幼児教育学科 実習生 実習Ⅰ	3 節分 21 職員会議	9・22音楽療法 28 クッキング(年長) 10	14 避難訓練
3 月	1 卒園記念写真撮影 14 リクエスト給食 10・24布団持ち帰り 30・31新年度準備	2 音楽療法 14 避難訓練 21～31学年末休業(1号認定のみ)	3 ひなまつり誕生会 18 卒園式	9 手作り弁当の日 22 職員会議

7. 教育・保育実践の概要

○ 教育・保育方針

キリスト教的情操教育を根底とし、あたたかい雰囲気の中で子ども独自の人格の発展性を主眼としたモンテッソーリ教育法を取入れ保育する。

○ 実践内容

◎モンテッソーリ教育

モンテッソーリ教具による個別指導を中心とした自由選択活動の環境を設定し、本来縦割りクラスでの実施であるがコロナ感染等配慮し今年度は年齢別クラスにおいて、午前中の保育時間に取り組み集中して活動に取り組む事で自己決定、自立へと導く。

◎食育

保育園における食育は、楽しく食べる子どもに成長していくことを期待し、食べ物を選べる子・元気な体のわかる子・食べ物の育ちを感じる子・味のわかる子・料理のできる子を目指して行う。

◇クッキング保育

年数回年長児を対象に栄養士、保育士と共に、実際に食材に触れ、調理器具を使用し調理実習を行う。子ども達自身で調理した料理をみんなで実食する。

実施日		対象児	実施内容
4月	15日	5歳児	◎クッキングスクール 野菜の苗植え(スナップえんどう・じゃがいも)
5月	9日	0～5歳児	たけのご観察
	25日	2歳児	絵本の読み聞かせ 『いただきます』
	27日		絵本の読み聞かせ 『おはしがもてる本』『はしの名人』
6月	10日	5歳児	◎クッキングスクール 梅ジュース 野菜の絵
	14日	3・5歳児	絵本の読み聞かせ 『もったいないばあさん』
7月	6日	全園児	夏祭りメニュー(ジャムサンド・ポテト・ブロッコリー 青梗菜スープ・フルーツ)
	13日	2歳児	絵本の読み聞かせ『フルフルフルーツ』
	13日	4歳児	栄養指導『ジュースに含まれる砂糖について』
	15日	5歳児	栄養指導『ジュースに含まれる砂糖について』
	21日	全園児	とうもろこしの皮むき
8月	9日	2歳児	絵本の読み聞かせ『おさじさん』
	18日	5歳児	梅ジュース完成
	22日	全園児	とうもろこしの皮むき
	24日	3・4歳児	絵本の読み聞かせ『あさごはん』
	24日	5歳児	野菜の収穫(にんじん・じゃがいも)・野菜の絵

6月	9日	4歳児	5名	・はじまりの挨拶	・たいこ
		5歳児	11名	・合奏(マラカス)	・危機一髪
		計	16名	・おわりの挨拶	
7月	7日	4歳児	4名	・はじまりの挨拶	・ベル
		5歳児	10名	・合奏(マラカス)	・シロフォン
		計	14名	・波音	
				・ゲーム(ビーズスティック・アイス)	
9月	8日	4歳児	4名	・はじまりの挨拶	・ベル
		5歳児	11名	・合奏(マラカス)	・シロフォン
		計	15名	・アンパンマンサイコロ	
				・ゲーム(ビーズスティック)	
10月	13日	4歳児	11名	・はじまりの挨拶	
		5歳児	4名	・合奏(マラカス)	・たいこ
		計	15名	・積み木	
				・ゲーム(ビーズスティック・アイス)	
11月	30日	4歳児	3名	・はじまりの挨拶	・手遊び
		5歳児	9名	・ベル	・おにぎり
		計	12名	・合奏(マラカス)	・シロフォン
				・ゲーム(ビーズスティック・アイス)	
1月	24日	5歳児	9名	・はじまりの挨拶	・動物かるた
				・羽子板	
		計	9名	・合奏(マラカス・たいこ)	・ボール投げ
				・ゲーム(ビーズスティック)	
	31日	4歳児	5名	・はじまりの挨拶	・たいこ
				・雪玉	
		計	5名	・卵マラカス	・羽子板
				・おわりの挨拶	
				・手遊び(おなかのすいたうさぎ)	
2月	9日	3歳児	19名	・はじまりの挨拶	・卵マラカス
				・うさこ	・ビーズスティック
		計	19名	・シロフォン	
				・毛虫(布)	・おわりの挨拶
3月	2日	3歳児	18名	・はじまりの挨拶	・糸巻き
				・タッチベル	・おわりの挨拶
		計	18名	・ゲーム(ビーズスティック)	

◆ 定期巡回相談

実施日	クラス	在籍人数	対象児人数	対象児計	巡回相談員	
5月9日	0歳児	5名	0名	31名 104名	巡回相談員	
	1歳児	14名	3名		特別支援コーディネーター	2名
	2歳児	14名	3名		健康作り課保健師	2名
	3歳児	20名	7名		かるがも教室指導員	2名
	4歳児	27名	8名		言語聴覚士	1名
	5歳児	24名	10名		計	7名

9月	9日	5歳児	実習生 栄養指導
	21日	2歳児	絵本の読み聞かせ『おはしレンジャー』
	30日	5歳児	実習生 栄養指導
10月	12日	2歳児	絵本の読み聞かせ『おにぎり』
	14日	4・5歳児	絵本の読み聞かせ『おはしの名人』
	26日	5歳児	稲刈り・野菜の収穫(さつまいも)
	31日	全園児	ハロウィンおやつ(アレルギーフリークッキー)
11月	4日	4歳児	親子クッキング(おにぎり)
	29日	3・4・5歳児	果報団子
1月	20日	5歳児	◎クッキングスクール 米の脱穀・ポップコーン・サイエンス
2月	28日	5歳児	◎クッキングスクール クレープ・ポップコーン作り
3月	14日	全園児	年長児リクエスト献立給食
5・6・8・9月	月1回	5歳児	おにぎり作り(しゃけ・ツナマヨ) ジャムサンド作り

◆リクエスト給食

料理の名前を覚えたり献立を考えたりすることで食への関心を深める。年長児が自分たちで献立を考え、実際に給食で食べる。

実施日	メニュー
3月14日	昼食:唐揚げ・かみかみサラダ・なめこ汁・フルーツポンチ
	おやつ:マシヨマロクラッカー

◎特別支援児保育事業

◆音楽療法

音楽を通して子どもの心を癒し、様々なセッションを行い楽しく参加することにより人と人との間で心理的なコミュニケーションを持てるように導いていく。

月1回第3水曜日 音楽療法士、特別支援専門員、保育士と実施する。

対象児: 年長5名 年長11名

実施日		参加対象児		実施内容	
4月	14日	4歳児	5名	・はじまりの挨拶	・手遊び ・積み木
		5歳児	11名	・合奏(マラカス)	・たいこ
		計	16名	・おわりの挨拶	
5月	12日	4歳児	4名	・はじまりの挨拶	・ベル ・はち
		5歳児	11名	・合奏(マラカス)	・ビーズスティック
		計	15名	・合奏(タンバリン)	・おわりの挨拶

8. 設備関係

◎総括

新園舎とはいえ3年過ぎ各部署において、修繕箇所が見られた。0歳児保育室においては、給湯器の不具合が見つかる。ランチルームの園児用手洗い場で水漏れによると思われた床の水シミは水道管のズレによるもので修繕。園児用トイレにおいては3度にわたり、紙つまりで不具合をおこし修繕する。トイレの使い方を指導し配慮する。1:2歳児保育室のベランダ側網戸の修繕並びに補強する。必要に応じ保育室・ホール・ランチルーム等のエアコン・換気扇のメンテナンスを今年度も4回行った。

また、昨年に引き続きオンライン研修、会議等対応できるパソコンを新たに購入する。防災補助金で避難車を購入。コロナ補助金にて、オゾン脱臭器を追加する。コロナの補助金制度に関しては令和4年度で終了となる。

新園舎において新築時の24時間換気、コンクリート構造による大量の結露について3年目はほとんど見られなかった。階段下倉庫や書庫においては一部カビの発生が確認されたがその被害もかなり軽減された。

年・月・日	品目・工事名	業者名	勘定科目	金額
R4・4・15	HPProbook 450GB CT55Q09AV-AAHP	エクナ	器具及び備品	135,300
R5・1・24	交通安全おさんぽ車	みちのく チャイルド社		162,800
R5・2・13	オゾン脱臭器 エアクローバー 2台	青輝(株)		211,200× 2 422,400